

米作りの大変さを学習

根雨小学校田で5年生が脱穀



はで干しされた稲を次々と脱穀機へ

10月5日、5年生が根雨小学校校庭横の学校田で、5月に田植え、9月に稲刈りを行い、はで干ししていたヒメノモチの脱穀作業に挑戦しました。

5年生は総合学習でもち米の栽培を学習しています。すべて手作業で田植えから脱穀まで行い、農作業の大変さを体験し、聞き取りなどをして学ぶということです。

子どもたちは、稲を脱穀機に入れる役、出てきたわらを運ぶ役など役割を決めて作業。汗を流しながら「大変だった」と感想を話しました。作業には地域の人や保護者も参加し、子どもたちと汗を流しました。

滝山公園でツツジを植樹

全国植樹祭リレー植樹



「大きくなってね」と笑顔で植樹

平成25年春に鳥取県で開かれる第64回全国植樹祭へ向け、全県下で気運を高めるため、10月7日、中営の滝山公園でリレー植樹を行いました。

当日は、町内の小学校の児童や保護者も参加し、日野町の花・ツツジ40本とサクラ3本を記念植樹しました。

児童らは今回の植樹祭シンボルキャラクター、トッキーマンと一緒に植樹をするなど、和やかな雰囲気の中、笑顔あふれるひとときとなりました。

次回は鳥取市、米子市でリレー植樹が行われます。

今年のイモは上出来だ

保育所と津地自治会芋掘り交流



大きなイモに苦戦する園児たち

10月5日、晴天の下、津地自治会内で、ひのっこ保育所と津地自治会との芋掘り交流会が行われました。

年中行事の一つとなっており、誰もがこの日を楽しみにしています。6月に一緒に植えた300本のサツマイモは収穫まで自治会が管理しています。代表の小谷清さんは「昨年よりも良い出来だなあ。植えた苗ほとんどにイモがついた。子どもが喜んでくれるのが何より」と笑顔。

子どもたちは土のついた手を見せ元気がいっぱい。両手で抱えたり、2人がかかりで掘ったりと一生懸命芋掘りを楽しめました。

地域づくりのために

防災福祉マップづくり研修会



危険箇所などを話し合いながら地図に記載

鳥取県西部地震、東日本大震災の経験を踏まえ、地震のみならず水災害がにより大きな災害が起こっている状況から、災害時を想定しながら地域の中のさまざまな課題を掘り起こそうと、10月7日、山村開発センターで防災福祉マップづくり研修会が開かれ、町内外から参加者が訪れました。

日野ボランティアネットワークなどが主催し開かれた研修会では、実際に岩手・宮城内陸地震、東日本大震災を体験した宮城県栗原市社会福祉協議会の佐藤一繁さんの話を聞き、参加者は災害時、いかに災害に負けない地域づくりが大切か学びました。

▼あなたの声や地域・職場での話題をお寄せください。★役場企画政策課まで（電話72・0332）



手作りの料理を食べながら談笑

温かい敬老会に笑顔 野田自治会で敬老会

10月8日、野田自治会（小谷学自治会長）で敬老会が開かれ、対象となる75歳以上の高齢者29人中13人が出席し楽しみました。参加者からは「祝ってもらってうれしい」と笑顔があふれます。

運営するのは『地域づくり委員会』。委員長の春野広美さんは「料理は地産地消にこだわっています。採れたてのキノコや山菜など地域の皆さんが準備したものです。私たちも楽しみながら運営しています」と話します。

次々とテーブルを彩る料理に厨房は大忙し。手打ちそばやキノコ汁、キノコの天ぷらなど秋の味覚満載でした。



応援を受けて輪なげに挑戦

地域住民が親睦を深める 黒坂地区二ユーススポーツ大会

地域住民が集い、健康づくり・体力づくりを図ろうと、10月8日体育の日、黒坂小学校体育館で黒坂地区二ユーススポーツ大会が開かれ、子どもから大人まで多くの参加者が競い合いました。二ユーススポーツは年齢に関係なく楽しめるスポーツです。競いながらも応援し合い、親睦を深めました。

この日使用した二ユーススポーツは、町公民館がコミュニティ助成事業を利用し購入・備品整備したもので、広く貸し出しを行っているものです。

助成事業は（財）自治総合センターの宝くじ普及広報事業の一環で、宝くじの受託事業収入が財源です。

民生児童委員の紹介



杉山 潔さん（根雨）

担当地区＝根雨1・2区

杉山潔さんが民生児童委員に委嘱されました。任期は10月1日から平成25年11月30日までです。

日野町民生児童委員協議会からお知らせ



つげさん（中）の動きと話にひきつけられる

かわいい人形に興味津々 ひのっこ保育所で人形劇

リズム良く、コミカルに動く人形、子どもたちの好奇心をそそる七色の声に、会場には多くの笑顔があふれます。

10月8日、親子でアートを楽しむ会「おひさま」（田口郁江代表）の主催で、京都の人形劇団、くわえ・ぱべつとステージのつげくわえさんによる、0～3歳を対象とした人形劇が開かれました。

会場のひのっこ保育所では、西部地区から30組の親子が訪れ、楽しいひとときを過ごしました。動物の鳴き声や楽器の音などを表現する、つげさんの七色の声に会場には笑い声が響き、大きな拍手が送られました。